

# 町の課題 前向きな意見を



## 三戸高クリエイティブ部

クリエイティブ部はこれまで、そのため、Cは動物や植物のハッ  
グデザインという地域課題を解決、ケースを制作。特色ある活動が

## クラフト目安箱「入れてける」制作

### 三戸

三戸町の課題を考へて解決策を実行する青森  
県立三戸高（前町年校長）クリエイティブ部の生  
徒は、町民から困りごとを募集してもらったクラフト目安箱「入れてける」  
は種類を制作した。さい銭箱やガチャポン、リンゴの木などをモチーフ  
にしたユニークな作品が多い。部員は町民に対して、「楽しみながら明  
るく前向きに投書してほしい」と呼びかけている。（熊谷 寛之）

## 8種類、公共施設などに設置

クリエイティブ部

認められ、本年度の全国高校総  
合文化祭郷土研究部の「公共  
・政策」分野で最優秀賞に輝い  
ている。

「入れてける」は、町民から  
意見を募集して課題を改めて決  
出するため、部員は人が昨年11月  
から制作に取り組み始めた。

紙に意見を書き込み、折り込  
んで結んだ上、さい銭のように入  
れる「圓掛け箱」、カプセル  
に入れて転がして入れる「ころ  
ポン」、リンゴの葉を模して  
張り付けてたわわと実らせる  
「りんごの木」など、楽しく投  
書できる作品が完成した。

1月30日は、部員10人が出席  
して町役場でお披露目会が開か  
れた。部員の説明を聞いた道庁  
校長は「昭和世代の人間には思  
いもつかないアイデア」と称賛。  
副校長「町長は『聞いてける』  
という思いをしっかりと受け止め  
て行政サービスに反映したいの  
で、たくさん意見をまとめてほし  
い」と激励した。

「入れてける」は、町内の公  
共施設や店舗に設置される。

町役場1階に設置された「こ  
ろポン」を制作した9年の大  
平珠来さんと小川真由さんは、  
「小中学生にガチャガチャを乗  
しめながら意見を出してほし  
い」「明るく前向きな意見が集  
まればうれしいな」と話した。